



【診療部】 泌尿器科

尿検査の異常があれば どうされますでしょうか？



泌尿器科
副院長 樋口 喜英

気候による排尿状況の変化は誰しも感じるものです。寒くなると頻尿になった、尿の勢いが弱くなった、などの訴えが増えてきます。

それは自然な変化である、と様子を見る事が多いと思いますが、ときに高血圧や内分泌疾患が関係しているため泌尿器の疾患とともにそれらの精査も必要になることがあります。

～尿検査所見に異常がみられる疾患～

腎実質の腫瘍や尿路上皮の腫瘍(腎盂腎杯・尿管・膀胱)、尿路結石、水腎症や膀胱尿管逆流(感染)、尿路の異物、前立腺肥大症や前立腺がん等があります。(図1)

自覚症状が認められなくても、泌尿器科的な精査治療を要しますので泌尿器科へご連絡いただければ幸いです。

～無症候性肉眼的血尿は早めに泌尿器科受診を～

尿検査所見の異常は尿潜血や蛋白尿そして膿尿として現れますが、その疾患により無尿、乏尿、尿閉、頻尿、排尿痛、残尿感、腰背部痛や発熱といったさまざまな症状を伴います。なかでもこれらの症状を伴わない血尿(=いわゆる無症候性肉眼的血尿)は、一日だけの症状であったり痛みを伴わないため、精査に至らず見逃されることが多くあります。

このなかには尿管がんや膀胱がんなどのように早期治療が必要なものが含まれており、早期に診断されずに治療機会を逸してしまうことも珍しくありません。泌尿器科においては、原因疾患鑑別として、尿細胞診・腹部超音波・腹部骨盤CT・腹部骨盤MRI・膀胱鏡検査などがおこなわれます。

～がんの他に血尿を呈する主な疾患～

腎炎などの内科的疾患・多発性嚢胞腎・特発性腎出血・出血性膀胱炎(細菌性、ウイルス性、放射線性、薬剤性)などがあります。

血尿だけでもさまざまな疾患の可能性を考えなければなりません。泌尿器科では腎機能や排尿機能についても対応してまいります。当院では、核医学検査機器がありますので、小児から成人までの分腎機能検査(腎レノグラム、DMSA腎シンチグラム、利尿腎レノグラム)による精査に関しても対応しております。いつでもお声掛けください。

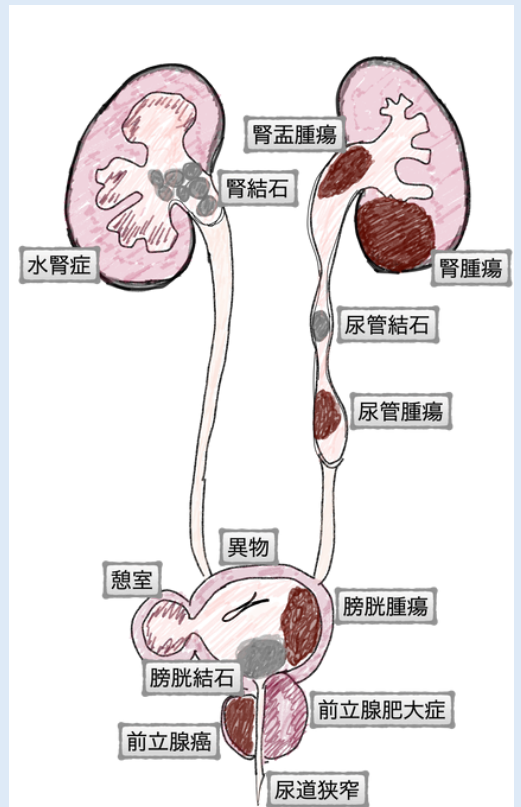


図1

「CGMを導入しました」



糖尿病内分泌内科
医長 岡 亜希子

糖尿病管理のための血糖測定

従来、日々の血糖値を調べるためには指先に針を刺す必要がありました。この方法だと穿刺ごとに痛みを伴いますし、測定した瞬間以外のほとんどの時間の血糖値を知ることはできません。血糖値を測定できないまま長時間が過ぎてしまうと低血糖が起こっていても気付かない可能性もあります。持続グルコースモニタリング(CGM)は、皮下に留置したセンサーを用いて間質液(※)中のグルコース濃度を持続的に測定することで1日の血糖変動を知ることができる医療機器です。

※間質液…細胞の間に流れている液体

日常の血糖管理を容易にするCGM

現在のグルコース測定値を表示するリアルタイムCGMは、いつでもどこでもすぐにグルコース濃度を確認することが可能です。さらに、最新のデバイスなら低血糖/高血糖アラーム機能や低血糖/高血糖を予測するアラームを設定できるため、睡眠中や集中している時、症状がない時の異常値を知らせてくれます。低血糖でしんどい思いをしたことがある方が低血糖を避けるために過剰に糖分を摂ってしまうことがありますが、そういった不安の大きい方にもとてもいい機能です。



実際の装着例

アプリでデータ共有が可能

ご家族や介助者の方と情報を共有することが可能です。遠隔でデータを確認することができるため、遠く離れて暮らす高齢のご家族の状態を見守ったり、親御さんがお子さんの血糖値の変動状況を確認したりするなどより良い血糖マネジメントの一助となります。また、医療機関とも連携することが可能です。医師の診察、看護師外来、栄養相談でデータを見ながら振り返りを行います。患者さんと一緒に考えることで糖尿病をよくする手がかりを見つけることが可能となります。



アプリ画面

測定レポート

認定看護師って何？

チーム医療推進室
皮膚・排泄ケア特定認定看護師

木下 真由美



皮膚・排泄ケア認定看護師とは

褥瘡（床ずれ）、人工肛門（ストーマ）、失禁（尿漏れ）や尿閉（尿が出せない）のケアを専門とする看護師です。名前の通り皮膚や排泄でのトラブルの予防・改善を中心にケアを行います。

特定看護師とは

医師や歯科医師による手順書の指示のもと、特定行為（高度な医療行為）を行うことができます。特定看護師は、患者さまの状態に合わせてタイムリーに処置ができ、また医師の不在を補うことでチーム医療にも貢献できます。

私は皮膚・排泄ケアの認定看護師でもあり、特定看護師の資格も持っているため、皮膚・排泄ケア特定認定看護師となります。

主な役割として院内で褥瘡の治療ケアと予防ケアの実践と管理をしています。具体的には、入院前からある褥瘡は入院時とその後は週1回ごとに観察とケアの評価を行い、退院時には治癒もしくは入院時より良くして退院できるようにと治療ケア方法を考え、病棟看護師とケアをしています。必要時には特定行為を駆使して壊死（腐敗した）組織の除去や陰圧閉鎖療法（傷を小さくするための機械(図1)の装着)を行い、傷を治すこともあります。予防ケアとしては患者様に適した褥瘡予防マットレスやクッションの選択、ポジショニング（除圧できる姿勢）の検討を行っています。また病棟看護師がこれらのケアが適切にできるようにスタッフ指導も行っています。

院内には褥瘡対策チーム（医師、看護師、作業療法士、栄養士、薬剤師が参加）があり、患者さまのケアや処置の情報を共有し、より良いケアや処置が提供できるように話し合いをしています。

褥瘡でお困りのことがあれば入院中にぜひご相談ください！



図 1

千船病院 連携医療機関

たかやま整形外科

☎ 06-6477-1177

📍 西淀川区姫里1-14-1 高友ビル

👤 高山 正文 先生
宮城 一郎 先生

【診療科目】 整形外科／リハビリテーション科

【ホームページ】

<https://takayama-seikei.jp/>



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～ 12:00	●	●	●	●	●	●
16:00～ 19:00	●	●	●		●	



黒川診療所

☎ 06-6471-9912

📍 西淀川区姫里1-22-23

👤 黒川 達人 先生

【診療科目】 内科／リハビリテーション科

【ホームページ】

<https://www.kurokawacclinic.jp/>



診療時間	月	火	水	木	金	土
10:30～ 12:00	●	●	●	●	●	●
15:00～ 18:00	●	●	●	●	●	

※ 積極的に訪問診療も行っています。

【時間外】 平日 12:00～15:00 18:00～19:00 (発熱・有症状外来)
土曜日 12:00～19:00 (発熱・有症状外来)

社会医療法人愛仁会 千船病院

〒555-0034 大阪市西淀川区福町3丁目2-39

TEL06-6471-9541 (代表)

阪神なんば線 「福駅」徒歩1分

ホームページ



Instagram



そらとぶ虹くじら

